

令和3年4月9日

兵庫県内の事業者の皆様
(飲食事業者を除く)

兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長(兵庫県知事) 井戸 敏三

業種別ガイドライン等に基づく感染対策の徹底について(依頼)

事業者の皆様には、新型コロナウイルスの感染拡大防止の徹底にご理解、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

本県は、4月5日「まん延防止等重点措置」実施区域に指定されました。

県内では、1日の新規感染者数が過去最多を更新するなど、感染が急速に拡大しており、医療提供体制が非常に厳しい状況となっています。

感染拡大の防止には、個別の施設等での業種別ガイドライン等に基づいた対策が重要であり、従前からガイドラインの遵守をお願いしているところです。

皆様におかれては、貴施設における業種別ガイドライン等に基づく感染対策について、今一度徹底いただきますようお願いいたします。

特に、百貨店やショッピングセンター・フードコート等の大規模集客施設においては、3密を避けるため、店内が混み合う場合の进店制限、順番待ちが店外に及ぶ場合の誘導等の感染対策を徹底していただきますようお願いいたします。

記

- 業種別ガイドライン(業種ごとの感染拡大予防ガイドライン)
※内閣官房ホームページ(<https://corona.go.jp/prevention/>)に掲載
- 感染リスクが高まる「5つの場面」
- 兵庫県知事からのメッセージ(4月9日)

お問い合わせ先

◆兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
(兵庫県企画県民部災害対策局災害対策課)

TEL: 078-362-9833

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

